

令和6年9月30日

東北地方整備局

令和6年度 東北地方整備局入札監視委員会 総会及び第一部会第1回定例会議を開催しました

— 審議概要を公表します —

【総会】令和6年8月26日(月) 13:15～13:45

審議概要は資料1参照

【定例会議】令和6年8月26日(月) 14:00～16:00

審議概要は資料2参照

○入札監視委員会は、「公共工事の入札及び契約の適正化の促進に関する法律」に基づき設置された、学識経験者等で構成される第三者機関で、次に掲げる事務を行う

- ・ 地方整備局発注の工事、建設コンサルタント業務等、役務及び物品の製造等に関し、入札・契約手続きの運用状況等についての報告を受ける
- ・ 抽出案件の審議を行い、意見の具申または勧告を行う
- ・ 入札・契約手続き等に係る再苦情の処理を行う

(発表記者会)

宮城県政記者会、東北電力記者会、東北建設専門紙記者会

(問い合わせ先)

東北地方整備局 入札監視委員会事務局

電話 022-225-2171 (代表)

入札契約監査官 西村 勝史 (内線2220)

東北地方整備局 入札監視委員会 総会 審議概要

開催日及び場所

令和6年8月26日(月) 13時15分～13時45分

仙台合同庁舎B棟13階 水災害予報センター

審議概要

- 委員長選出
- 委員長代理の指名
- 各部会委員の指名
- 報告(令和6年度東北地方整備局の事業概要)

委員名簿

| | | |
|-----------------|-----------------------------------|-------------------|
| 委員長 (第一部会) | <small>おいかわ ゆうすけ</small> 及川 雄介 | 弁護士 |
| 委員長代理 (第二部会) | <small>さなだ まさゆき</small> 真田 昌行 | 弁護士 |
| 委員 (第一部会) | <small>かとう あけみ</small> 嘉藤 明美 | (株)鐘崎 代表取締役社長 |
| 委員 (第一部会) | <small>おくむら まこと</small> 奥村 誠 | 東北大学 災害科学国際研究所 教授 |
| 委員 (第一部会) | <small>さくらい やすひろ</small> 櫻井 康博 | 公認会計士、税理士 |
| 委員 (第二部会) | <small>かわい ただし</small> 河井 正 | 東北工業大学 工学部 教授 |
| 委員 (第二部会) | <small>さかもと なおき</small> 坂本 直樹 | 山形大学 人文社会科学部 教授 |

(委員名は役職、部会毎に五十音順・敬称略)

委員会には二つの部会を設置し、第一部会では港湾空港関係事務以外について
第二部会では港湾空港関係事務について、それぞれ審議を行う

東北地方整備局 入札監視委員会(第一部会) 審議概要

| | | | |
|-------------------------|--|----|---------------|
| 開催日及び場所 | 令和6年8月26日(月) 14時00分～16時00分 仙台合同庁舎B棟12階 大会議室 | | |
| 委員 | 部会長 <small>おいかわ ゆうすけ</small> 及川 雄介 弁護士 部会長代理 <small>かとう あけみ</small> 嘉藤 明美 (株)鐘崎 代表取締役社長 委員 <small>おくむら まこと</small> 奥村 誠 東北大学 災害科学国際研究所 教授 委員 <small>さくらい やすひろ</small> 櫻井 康博 公認会計士、税理士 | | |
| 審議対象期間 | 令和5年10月1日～令和6年3月31日 | | |
| 審議案件 | 総件数 | 8件 | |
| 工 事 | | 5件 | 審議案件は別紙-1のとおり |
| | 一般競争 (政府調達) | 1件 | |
| | 一般競争 (政府調達以外) | 3件 | |
| | 随意契約 | 1件 | |
| | 建設コンサルタント業務等 | 2件 | |
| 役務・物品等 | 1件 | | |
| 審議における意見・質問、それに対する説明・回答 | 別紙-2のとおり | | |
| 委員会による意見の具申または勧告 | 別紙-2のとおり | | |

抽出指定工事等一覧

(第1回定例会議:令和6年8月26日(月))

○ 抽出対象期間:令和5年10月 1日 ~ 令和6年 3月31日

○ 抽出委員名等:嘉藤委員 令和6年6月14日(金)抽出

工事に係る入札方式別抽出案件一覧

総契約件数……461件

一般競争入札方式(政府調達に関する協定適用対象工事)

| 番号 | 工事名 | 工事種別 | 競争参加資格を確認した者の数 | 入札参加者数 | 契約締結日 | 契約の相手方 | 契約金額 (単位:千円) | 落札率 (単位:%) | 備考 |
|----|----------------|--------|----------------|--------|--------|---------|-----------------|---------------|-------|
| ① | 鳴瀬川ダム仮排水トンネル工事 | 一般土木工事 | 23 | 14 | R6.2.9 | 西松建設(株) | 2,073,720 | 92.0 | 鳴瀬川工事 |

一般競争入札方式(政府調達に関する協定適用対象工事以外のもの)

| 番号 | 工事名 | 工事種別 | 競争参加資格を確認した者の数 | 入札参加者数 | 契約締結日 | 契約の相手方 | 契約金額 (単位:千円) | 落札率 (単位:%) | 備考 |
|----|----------------------------|--------|----------------|--------|---------|----------|-----------------|---------------|------|
| ② | 水沢地区橋梁補修工事 | 橋梁補修工事 | 2 | 2 | R6.1.11 | (株)和泉工務店 | 92,840 | 100.0 | 酒田 |
| ③ | 酒田港湾合同庁舎(23)増築棟 建築その他工事 | 建築工事 | 1 | 1 | R5.11.1 | 林建設工業(株) | 426,800 | 98.5 | 営繕部 |
| ④ | 有家大橋塗装工事 | 塗装工事 | 8 | 8 | R6.3.25 | ライト工業(株) | 259,050 | 91.3 | 三陸国道 |

随意契約方式

| 番号 | 工事名 | 工事種別 | | | 契約締結日 | 契約の相手方 | 契約金額 (単位:千円) | 落札率 (単位:%) | 備考 |
|----|-------------------------|--------|--|--|--------|----------|-----------------|---------------|-------|
| ⑤ | 北上川追波川排水機場ポンプ 設備修繕工事 | 機械設備工事 | | | R6.3.6 | (株)鶴見製作所 | 269,940 | 99.9 | 北上川下流 |

建設コンサルタント業務等に係る抽出案件一覧

総契約件数……323件

一般競争入札方式

| 番号 | 業務名 | 業種区分 | 競争参加資格を確認した者の数 | 入札参加者数 | 契約締結日 | 契約の相手方 | 契約金額 (単位:千円) | 落札率 (単位:%) | 備考 |
|----|----------------|-----------------|----------------|--------|---------|--------------|-----------------|---------------|----|
| ⑥ | 東西栗子トンネル設備設計業務 | 土木関係建設コンサルタント業務 | 2 | 2 | R5.10.2 | 電設コンサルタンツ(株) | 25,575 | 100.0 | 福島 |

簡易公募型プロポーザル方式

| 番号 | 業務名 | 業種区分 | 手続への参加資格及び業務実施上の条件を満たす参加表明書の提出者数 | 技術提案書の提出者数 | 契約締結日 | 契約の相手方 | 契約金額 (単位:千円) | 落札率 (単位:%) | 備考 |
|----|-----------------|-----------------|----------------------------------|------------|----------|--------|-----------------|---------------|-------|
| ⑦ | 北上川ダム操作AI活用検討業務 | 土木関係建設コンサルタント業務 | 1 | 1 | R5.10.19 | いであ(株) | 14,993 | 100.0 | 北上川統管 |

役務の提供等及び物品の製造等に係る抽出案件一覧

総契約件数……191件

一般競争

| 番号 | 業務名 | 業務分類 | 競争参加資格を確認した者の数 | 入札参加者数 | 契約締結日 | 契約の相手方 | 契約金額 (単位:千円) | 落札率 (単位:%) | 備考 |
|----|--------------------------|--------|----------------|--------|----------|--------------|-----------------|---------------|-----|
| ⑧ | 債権管理システム環境構築及び関係システム連携業務 | 役務の提供等 | 1 | 1 | R5.10.24 | TDCフューテック(株) | 8,162 | 99.9 | 総務部 |

1. 報告

- (1) 工事、建設コンサルタント業務等、役務の提供等及び物品の製造等の発注状況
- (2) 指名停止等の運用状況
- (3) 入札談合に関する情報等への対応状況
- (4) 再度入札における一位不動状況
- (5) 低入札価格調査制度調査対象工事の発生状況
- (6) 一者応札の発生状況
- (7) 不調・不落の発生状況
- (8) 高落札率の発生状況

| 意見・質問 | 説明・回答 |
|-------|-------|
| なし | |

2. 審議

| 抽出案件 | 意見・質問 | 説明・回答 |
|-------------------------|--|---|
| ①鳴瀬川ダム仮排水トンネル工事 | 段階的選抜方式とは？ | 2段階で審査。一次審査では、評価点合計の上位10者とH30以降の選抜回数が少ない4者を追加選抜し、二次審査で技術提案書の提出を求めている。 |
| | 高額な入札であるが、入札価格が僅差となっているのは何故か。 | 標準積算基準が公表されていることから積算精度が高い。この案件に限らず一般土木のA等級のトンネル工事は、調査基準価格に近い金額での僅差となる傾向にある。 |
| ②水沢地区橋梁補修工事 | 参加可能業者数の53者に対し、参加申請者数が3者というのは、本件が特に少なかったということになるか。 | 小規模で点在する橋梁補修工事ということで手間のかかること、利益率が低いこと、また金額が小さいことで敬遠されたと考える。 |
| | 例えば、塗装を長持ちさせるための材料や技術的な提案をできるような仕組みはあるか。 | 契約締結後の話となるが、提案があれば活用する場合もある。 |
| | 公表されている標準歩掛と2者からの見積りによる歩掛等も公表を行っていることから落札率が100%となった旨の説明があったが、入札参加者が例えば5者だった場合には、5者に見積り依頼をするのか。 | 入札説明書の交付の時点で見積り依頼を行っているので、入札参加者が5者であれば5者から見積書の提出を受けることとなる。なお、採用する歩掛は、平均の直近下位のものとなる。 |
| ③酒田港湾合同庁舎(23)増築棟建築その他工事 | 建築工事のB等級の対象工事について、C等級も含めて拡大して発注したようだが、落札者は何等級の者か。 | C等級である。 (拡大した効果があった。) |
| | 1回目の入札でが予定価格を超過し、2回目の入札で落札となっているが、大幅に入札価格が低くなっているのは何故か。 | 1回目の入札において官積算との開差が大きい場合には、官積算の考え方について補足説明を行っており、その結果、落札に至ったものである。 |
| ④有家大橋塗装工事 | 入札参加者が多く競争性が高い入札だったと考えるが、どのように考えるか。 | 橋の延長が長く金額が大きくなったため、参加者が多くなったと考える。 |

2. 審議

| 抽出案件 | 意見・質問 | 説明・回答 |
|---------------------------|--|---|
| ⑤北上川追波川排水機場ポンプ設備修繕工事 | 参加者確認型方式。当初の施工者以外の施工が難しい案件に用いられる手続きだと思いが、参加意思確認書の提出(応募)があった実績はあるか。 | 無い。本件と同様に特定予定者との随意契約となっている。 |
| | 応募があった場合、参加者は仕様を確実に把握できるようになっていたか。 | 資料を全て確認できるよう環境を整えていた。 |
| ⑥東西栗子トンネル設備設計業務 | 見積活用とのことであるが、提出のあった2者分を公表するのか。 | 提出のあった見積書の妥当性を確認し、平均の直近下位の歩掛を競争参加者全者に参考資料として公表している。 |
| | 歩掛や単価が公表されている事で、参加者は予定価格を推計できるということか。 | 積算に必要な情報は全て公表していることから、官積算との金額差が生じにくくなっていると思われる。 |
| | 入札額が同額であり、技術評価値の差により落札者が決定されているが、評価点の差は何か。 | (技術点の内訳書により説明。) |
| ⑦北上川ダム操作AI活用検討業務 | 流入量予測やダム操作について、AIを使用し、現状の基準等を満たすような成果を求めようとするものなのか。 | AIに関する流入量予測の基準等はないが、貯留関数法等と比較、検証し、精度を高めている。ダム操作は、操作規則が規定されているが、事前放流など決まった方法がないものについて、検討を進めているものである。 |
| | 同種業務の実績のある者は9者しかおらず、まだ技術的に固まっていないのではないか。そうであれば、各社の提案や技術力にもバラツキがあり、プロポーザルで特定された者からの見積額の妥当性やプロポーザル方式での発注に対して懸念もあるが如何か。 | 流入量予測は、実用化のレベルになってきている。ダム操作は、まだこれからの部分もあるが、当方が求めているものは何かを仕様書等で明確に示して進めている。ご指摘の点を踏まえ、今後も適切な発注に努めていきたい。 |
| | 本省で全国的な基準を設けてから、それぞれが検討するというような仕分けがあるとよいのではないかと感じるが。 | 上部機関に伝え、相談等をしながら進めていきたい。 |
| ⑧債権管理システム環境構築及び関係システム連携業務 | 入札参加者が本システムの開発者1者のみであったが、仕様の情報を適切に明示しないと、他者の入札への参加は困難と考える。システムの仕様は適切か。 | 適切と考える。 |
| | 競争参加資格要件の業務管理責任者の要件は妥当か。 | システム関係の要件としては一般的な要件である。 |

3. 委員会による意見の具申または勧告内容

具申または勧告

無し

委員からの意見要望

プロポーザル方式や参加者確認型等の技術力を求める案件について、事前の情報をできるだけ広く収集するとともに、標準的な評価ポイントを具体的に設定する等、広く業者が参加できるような環境づくりをお願いしたい。